

第 4 回日進市道の駅整備検討委員会会議録

日 時 平成 29 年 12 月 18 日（月） 午前 10 時から午前 11 時 20 分まで

場 所 日進市役所 4 階第 2・3 会議室

出 席 者 〈委員〉
伊豆原浩二、鵜飼宏成、亀倉正彦、内田好昭、石黒秀一、中村雄一、蟹江栄吾、
幸村好美、間瀬真由子、古賀英治、菅沼成明、住田穂積、森川敏育、
〈オブザーバー〉
大原千明（中部地方整備局名古屋国道事務所交通対策課長）
小柳和人（愛知県建設部道路維持課課長補佐）
金井真（愛知県尾張建設事務所道路整備課長補佐）
遠松誠（市建設経済部長）

欠 席 委 員 加藤由喜雄、平真弓

事務局（説明のため出席した職員の職氏名）
宇佐美博（建設経済部次長兼道路建設課長）、高柳秀史（同課課長補佐）、清水
幸敬（同課用地係長）橋本公太（同課用地係主任）
伊藤孝明（建設経済部特命事項支援員）、加藤博之（都市計画課担当課長）

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有（19 名）

議 題 議題1：基本計画（素案）の検討について

配 布 資 料 資料 1：第 4 回日進市道の駅整備検討委員会 次第
資料 2：第 4 回日進市道の駅整備検討委員会 座席表
資料 3：第 4 回日進市道の駅整備検討委員会 資料
資料 4：日進市道の駅基本計画（素案）

議事及び発言内容

発言者	内容（要旨）
	・開会(午前 10 時)
委員長	・傍聴者の確認
事務局	傍聴の申し出あり(19 名)。傍聴者入室。
委員長	それでは、議題に移ります。 本日の議題は 1 点です。資料については、各議題に関連があることから、事務局より一括で資料説明をお願いします。
事務局	(資料 3、資料 4 を用いて説明)
委員長	ただいま、事務局より説明がありました。議題1の前に、資料 3 における「第 3 回の意見への対応」について、何かご質問・ご意見等ありますでしょうか。
委員	(質問・意見なし)
委員長	それでは、議題1に移りたいと思います。議題1「基本計画(素案)の検討について」、何かご質問・ご意見等ありますでしょうか。

委員	非常に大きなところからになるが、資料4の2ページ「基本計画の位置づけ」について、基本計画の前に基本構想というものがある。今回、基本計画を策定しているが、その次に基本設計というものがある。基本計画では「ここを狙っている」という基本的な部分を確認させてもらえないか。
事務局	基本計画については、「道の駅」の設計等を進めていく上で、基本となる計画となります。市が目指す「道の駅」の基本を定めるもので、その基本を踏まえて必要な機能や施設、その規模を定めていくものです。詳細な部分については、今後の基本設計において示していくこととなります。
委員長	資料3に提示された研究段階等の部分については、今後の基本設計段階において検討ということになります。
委員	資料4の1ページ「はじめに」の部分について、第3回の検討委員会のときには1、2行目に「第5次日進市総合計画第7次実施計画」と記載されていたが削除されている。どのような理由で削除されたのか。
事務局	「第5次日進市総合計画第7次実施計画」については、第5次日進市総合計画は市のまちづくりの根幹となる計画ですが、第7次実施計画自体は予算の関係を示す計画となります。総合的な上位計画という意味とは異なるため、当該部分の表記については削除しました。
委員	資料4の「参考資料」の部分では、「第5次日進市総合計画第7次実施計画」が記載されており、日進市人口ビジョン・総合戦略も記載されているが、こちらは何か理由があるのか。
事務局	特別な意味合いはありませんが、今後の事業計画として実施計画にも掲載しているという意味で、参考資料には掲載しています。
委員	質問等ではないが、基本計画(素案)を大変丁寧にまとめていただいて感謝している。とりわけ、前回の意見対応として、指定管理についての研究段階の情報を出していただいた。私たち委員としては、指定管理という考え方が分からない部分もあったので、この資料により理解が深まり、方法を選択していく上で適切なものの1つだったと言える、と思っている。 それと同時に利用者数の想定も、県内「道の駅」を参考に道路交通センサスに基づく1日あたり12時間交通量と実際の利用実績という関係を出してもらった。「どんな施設の内容であれば、これくらい利用が延びそうだ」といったことや、あるいは、道路交通センサスの交通量との比例関係や相関関係をイメージしていることも分かったので、次の基本設計に向けた資料として、非常に的確な情報を出していただいたと、追加の部分については思っている。
委員	基本計画(素案)の中には、重点的に取り組むべき地域課題として、市民まつり等、地域の商工業の活性化の一役を担っているイベントを掲載していただいた。今後、「道の駅」を利用させてもらうことで、益々日進市の商工業の活性化につながるのではないか、という夢を持たせていただいている。ありがとうございます。
委員	設計段階のことかもしれないが、屋内の子育て支援施設や子どものトイレについて伺いたい。資料4の35ページには「各年齢層の子どもやその保護者を対象とし」ということが記載されているが、62ページの子育て支援施設(屋内)のレイアウトには、これは

	参考のレイアウトだと思うが、乳幼児を対象とした施設が記載されている。子育て支援施設について、35 ページに記載されているような、各年齢層の子どもが遊べるような施設に向けて考えているのか伺いたい。また、子ども用のトイレに関して、57 ページの設計要領に記載されている「子供コーナー」については、男性用・女性用とは別に「子供コーナー」があるのか、男性用・女性用の中に「子供コーナー」があるのか。
事務局	まず一点目の質問ですが、65 ページの図は、あくまで施設規模 300 m ² のイメージとして掲載したものととなります。続いて 2 点目の子ども用のトイレについては、今後、設計段階において内容や規模を検討していきます。
委員	「子供コーナー」は屋内施設だけでなく、屋外の休憩機能の方にも設置されるのか。
事務局	屋内のトイレは地域連携機能のトイレですので、設置の方向での検討となりますが、休憩機能のトイレ施設は、道路管理者が整備する施設となるため、標準的な仕様以外は難しいと考えられます。
委員	男性用・女性用それぞれに、男の子用と女の子用の子ども用トイレをつけることはできるのか。
事務局	具体的な仕様については、現段階ではお答えできませんが、そういった部分も配慮しながら、今後、設計を進めていきたいと考えています。
委員	おむつ替えスペースの記載もないが、設計の際には、できれば男性用トイレにも設置してもらいたい。
事務局	貴重なご意見として、今後の設計に反映していきたいと思えます。
委員長	今の指摘は、計画段階では具体的な記載は難しいかもしれませんが、留意すべき事項だと思います。設計段階に反映していただきたいと思えます。
委員	資料 3 の研究段階資料は、本日のための資料なのか、今後も使っていく資料か。
事務局	本日の委員会のための資料となります。
委員	68 ページの「防災ヘリポート」について、75 ページに記載されている「着陸帯設定時における留意事項」が掲載されていたが、削除した理由は。
事務局	「着陸帯設定時における留意事項」については、施設配置にかかる条件として整理したため、75 ページに掲載しました。
委員長	設計条件にかかる条件ということだと思います。基本設計等の段階において、再確認していく内容ですので、よろしく願います。
オブザーバー	16、17 ページ「防災・減災」の「道の駅における方向性」について、市の地域防災計画における位置づけについてはどのように調整しているのか。
事務局	「道の駅」を防災の拠点として活用していく部分が多いので、整備に伴い、地域防災計画にも位置づけていきたいと考えています。
委員長	こうした考え方を地域防災計画に反映していくということですね。
委員	駐車場施設についてだが、将来的には電気自動車が増えていく。そのあたりの考え方について聞かせてもらいたい。
事務局	電気自動車への対応については、レイアウト図上には示しておりませんが、設計の段階では検討を進めていきたいと考えています。そのため、資料 4 の 29 ページ「駐車場施設」の中には、電気自動車用充電施設について記載しています。

委員長	電気自動車関連の施設については、いろいろな種類があります。また、スマートフォンを活用した情報提供施設等、通信施設もいろいろ進歩しています。これだけ技術躍進が早いと、せっかく整備した施設が一昔前になることもあります。コストの問題もあり難しい部分がありますが、時代を先取りした、一歩先を見据えた設計に配慮してもらえたらと思います。
委員	答えられる範囲で構わないが、市の指定管理者制度における指定管理期間は原則5年間である。しかし、本日の説明を受けて、指定管理期間の見直しはありうるのか。原則5年を10年、15年間にする可能性はありうるのか。
事務局	現時点では、事務局の研究段階であり、未定です。ただ、指定管理期間が10年以上の「道の駅」では、指定管理料0円で管理運営を行っている事例があることが分かってきました。指定管理期間の原則は5年間であり、現時点ではお答えが難しいですが、できるかぎり原則に拘らず、管理運営ができるよう研究を進めていきます。
委員	これはお願いになるが、私のところに「道の駅」整備に反対意見を伝えてくる市民は、「大切な税金が無駄に使われる」と不安や懸念を伝えてくる。その「無駄使い」の意見には根拠はないが、そうした声に対しても、指定管理の費用をできるかぎり節減するために十分研究していただき、原則5年間であっても、管理期間10年間で指定管理料0円になるのであれば、ぜひ原則に拘らず検討していただくようお願いしたい。
委員	指定管理料というのは、施設の維持管理費等の必要経費や人件費を含めて一括払いなのか。
事務局	指定管理料は、人件費や維持管理費を含めた全ての必要経費から算定して定めます。ただ、「道の駅」に関しては、休憩機能等の部分もあり、すべてを一括して任せると、公共部門は市で管理するのを含めて、今後の検討事項となります。
委員長	指定管理については、資料にあるとおり研究段階にあります。ただ、委員のご指摘のとおり、いかに市にとっても良い仕組みを何とか作り上げていきたい、というのが事務局の本音だと思います。
委員	私から一つ問題提起させていただきたい。資料4の97ページ「7-1 概算事業費」について、基本計画について概算事業費を示す必要があるのか。大まかな金額と言えど、市としてリスクがあるのではないかと。
事務局	建設コストや人件費は常に変動しており、事業費も変動します。記載することで、今後の設計において金額的な制約がかかる可能性があります。その意味ではリスクがありますが、このような大きな施設整備になりますので、あくまで現時点となりますが、概算事業費を記載しております。
委員	この金額は一人歩きしてしまう可能性がある。その結果として、どのような形で基本計画の読み手、関連する事業者を受け取られるのか不透明な部分がある。事業計画の位置づけから考えると、本来、事業費は設計段階において示すものである。概算事業費を示す意義とリスクを天秤に掛けたとき、ここで示す必要はないのではないかと。
事務局	概算事業費については、市民の皆様の関心も高い部分になりますので、現時点の想定範囲内になりますが、金額を示していく案となっています。しかしながら、この部分は本委員会での判断も仰ぎながら、修正をかけていきたいと考えています。
委員	私の意見としては、素案のような幅を持った事業費の提示でよいと思う。人件費や建

	設コストは変動があるので、ある程度の最大値を記載しておく必要がある。なので、アバウトな部分はあった方が良くと思う。
委員	私個人の意見としては、基本計画にもある程度を目安となる数値はあっても良いと思う。逆にそれがないと、事業に対して不安視される市民も出てくる可能性がある。
委員	私としては、基本計画の趣旨を考えると、事業費は設計にかかるもので、基本計画の範疇から外れるのではないかと認識している。なので、基本設計において提示していけばよいのではないかと。
委員長	委員が指摘されたリスクへの配慮を考えると、「現時点での数値」という一文を追加修正していただき、金額を記載していく方向でいかがでしょうか。
全委員	異議なし。
委員長	事業費というものは、いろいろな施設や設備を追加すれば、当然大きくなります。今の段階では、なかなか具体的な部分は難しいのも事実ですが、一方で、市民の皆さんに分かりやすいものを見てもらうことも必要となります。ですので、但し書きを整理した上で記載していきたいと思えます。事務局は修正をよろしくお願ひします。
委員	「道の駅」を経営していく上では、経営コンサルタント等の指導やアドバイス等が必要となってくるのではないかと考えるが、そのあたりについて伺いたい。また、他県を含めた交流等について、どのように考えているのかも聞かせてもらいたい。
事務局	一点目の質問についてですが、民間事業者やプロの眼から見た視点は必要と考えています。資料3の3ページの「指定管理予定者」のように、民間事業者の知恵やノウハウ等を取り入れていく仕掛けを、現在研究しています。 二点目ですが、現時点では、直接的に「道の駅」自体での他自治体との交流については想定しておりませんが、市としては、友好自治体提携を結んでいる自治体との連携に取り組んでいきたいと考えています。
委員長	「道の駅」については、中部地方整備局では管内の駅長等が集まり、情報交換を行う交流の場が設けられています。「道の駅」が整備された後は、そのような場に参加していくことで、交流ができると思えます。
委員	資料4の30ページに「ユニバーサルデザイン」の言葉が使われている。素案を読むと、ハード部分、すなわち物理的な条件の部分が多く見られるが、ユニバーサルデザインの定義は、サイン等の色合い等も含まれる。加齢とともに、色合いによっては見にくくなる等の視覚的な変化がある。計画に記載することは難しいことだと思うが、ユニバーサルデザインの意味を限定的に捉えて、今後の議論を進めてほしい。
委員長	大変大切な部分だと思います。ユニバーサルデザインというのは広い意味で、施設設計だけでなく、いかに皆が助け合えるか、そういった共助の部分もあります。意見を議事録に残して、次のステップに引き継いでいただきたいと思えます。
委員	資料4の87ページ「5-6 イベント開催の可能性分析」について、市や商工会のイベント活用の可能性を検討していただいている。しかし、せっかく施設規模を満たしていても、車止めや駐車場の輪留め、段差があると、不完全なものになる。イベント開催時に輪留めが取り外しできなければスペースの有効活用ができないし、段差があると利用者が転倒する事故が発生する可能性もある。基本設計の検討に引き継いでいただきたいが、段差のない施設構造等に配慮してもらいたい。

委員長	これも大切な留意事項ですので、議事録に残して、次のステップに引き継いでいただきたいと思います。
委員	第1回の委員会から話題が上がっている部分について、もう一度確認したい。12ページ「2-2 重点的に取り組むべき地域課題」の地域課題「子育て支援」について、当初から違和感がある旨が挙げられていた。この部分だが、他の委員は、検討を進める中で解消できたのか。例えば、この表現を「子育て支援・コミュニティ形成」といった表現にしてみたら、違和感は緩和されるのではないか。
事務局	子育て支援に関しては、全国的にも希少な事例であります。日進市の特徴や状況を鑑みた上で、市全体の「にぎわいの創出」に向けて検討してきた結果、子育て支援を第一の地域課題として取り上げています。その他の部分と一緒に合わせてしまうと、課題や必要性が漠然としてしまうので、「子育て支援」という一つのテーマに絞り、挙げています。
委員	子育て支援については、私の「道の駅」におけるイメージとも異なっていたため、違和感があった。ただ、日進市「道の駅」の一つのあり方、特色として捉えていくのであれば「それもあかな」と感じている。しかし、私が聞いている市民の中には、『道の駅』整備は反対していないが、『道の駅』で子育て支援というのに驚いた」という人もいます。納得するしないは別として、子育て世代の多くの市民に対して、十分に説明していくことが必要だと思う。
委員長	子育て世代は、女性だけではなく男性も対象になります。この世代を対象に、いろいろなアイデアを聞くことも大切だと思います。いわゆる拠点型の「道の駅」を目指す以上、利用する人たちに上手く利用してもらうための仕組みにしなければ意味がないと思います。そういったことから利用する立場の人たちの意見を聞いて、反映していくのもよいと思います。子育て世代が「利用して良かった」「日進市はすごく良いまちだ」といつて喜んでもらえる、それはハードだけでなく仕組みの部分でもありますので、子育て世代の皆さんと意見を交換して、交流してもらいたいと思います。
委員長	さまざまなご意見やご指摘をいただきました。大きな修正点はなかったと思いますが、多少の修正はあると思いますので、修正については、委員長と事務局に一任いただき、議題1「基本計画(素案)の検討について」は、承認いただく方向でよろしいでしょうか。
全委員	異議なし。
委員長	それでは、議題1「基本計画(素案)の検討について」は承認とさせていただきます。事務局は、パブリックコメントの手続きを進めてもらいたいと思います。 本日の議題はこれで終了いたしました。 その他、連絡事項等があれば事務局よりお願いします。
事務局	次回の日進市道の駅整備検討委員会については、パブリックコメントの実施結果と基本計画(案)等を議題として、2月中旬から下旬に開催したいと考えていますので、ご予定のほど、よろしく申し上げます。
委員長	そのほか意見もないようですので、これで終了いたします。ありがとうございました。
	・閉会(午前11時20分)